

緑肥作物特性表（北海道用）

品 種	(草種 種類 名)	科 名	ページ	播種量 (kg/10a)	施肥量 (kg/10a)			減肥の目安 (kg/10a)		炭素率 (%)	播種期 (月・旬)	蒔き込み期 (月・旬)
					N	P	K	N	K			
ハイオーツ	(アウエナストリゴサ エンバク野生種)	イネ科	6-9	10-15	5	5	0-5	0-4	0-4	15-30	4下～6中 7下～8中 8下～9上	7上～8中 10中～下 10下
(品種マテックス)	シロガラシ	アブラナ科	26	2-3	休閑：5-8	5-10	0-7	2-5	0-6	15-25	4下～6中	6下～7下
					後作：5-8	5-10	0-7	4-6	0-6	12-20	7下～8下	10月
辛神 	カラシナ	アブラナ科	17-19	1.0-1.5	休閑：8-10	5-10	0-7	1-3	0-6	15-20	露地：5月 ハウス：2～4月	露地：6下～7上 ハウス：4～6月
					後作：8-10	5-10	0-7	2-4	0-6	12-20	8月（ハウスも）	9下～10月
(品種まめ助)	ヘアリーベッチ	マメ科	22	5	2-5	5	0-5	3-5	0-4	10-15	5上～6中 7下～8中	7中～8中 10中～下
(品種藤えもん)	ヘアリーベッチ	マメ科	21	4-5	2-5	5	0-5	3-5	0-4	10-15	5上～6中 7下～8中	7中～8中 10中～下
(品種寒太郎)	ヘアリーベッチ	マメ科	20	5	2-5	5	0-5	3-5	0-4	10-15	5上～6中 9中～下	7中～8中 翌年4～7月
まめゆたか	まめ助：5kg とちゆたか：3kg 混播セット		23	8	休閑：4-8	6-8	0-8	0-4	0-6	20-30	5上～6中	7中～8中
					後作：3-6	6-8	0-6	2-4	0-5	15-25	7下～8下	10中～下
(品種ねまへらそう)	スーダングラス	イネ科	13	5	6-10	6-10	0-10	0-4	0-8	20-30	露地：6～7月 ハウス：5～8月	露地：8～9月 ハウス：播種 2ヵ月後
(品種つちたろう)	ソルガム	イネ科	15	5	露地：8-10	8-12	0-10	0	0-8	30-45	露地：6～7月	露地：8～9月
					ハウス：3-8	3-8	0-8	0-4	0-6	20-40	ハウス：5～8月	ハウス：播種 2ヵ月後
くれない	クリムソンクローバー	マメ科	14	2-3	3-4	8-12	0-6	2-4	0-5	15-20	4下～6中 7下～8上	7～8月 10月
ボモロン 	ソラムベル ウィアヌム種 (トマト野生種)	ナス科	10-11	0.7-1.0	8-10	8-10	8-10	0-4	0-8	10-15	6中～7上 8上	播種後 60～80日を 目安
アンジェリア	ハゼリソウ	ハゼリソウ科	27	2-3	5	5	0-5	0-4	0-4	15-25	5～6月	開花後
とちゆたか	エンバク	イネ科	22	後作・休閑：10-15 間作：5-8	4-6	5-10	0-5	0-4	0-4	15-30	4下～6中 7下～8中	播種後60日後 出穂を目安
(品種R・O・F イイラ)	ライムギ	イネ科	12	10-15	4-6	5-10	0-6	2-3	0-5	15-20	8下～9上（年内） 9中～下（越冬）	年内10～11月 あるいは翌年 5下～6上 （出穂を目安）
スナイパー 	エンバク	イネ科	16	10	4-6	5-10	0-5	0-4	0-4	15-30	露地、ハウス： 8下～9上 2重、加温ハウス： 11月	露地：10月 ハウス：翌年3月
メジウム	アカクロローバ	マメ科	24	休閑：2-3	2-4	8-12	0-5	5-6	0-4	11-15	5～6月	9～10月
				小麦間作：3-4	0-2	0-5	0	2-4	0	10-13	4月（出来るだけ早く）	9～10月
スワン	エンバク	イネ科	－	15-20	4-6	5-10	0-5	0-4	0-4	15-30	7下～8中	10中～下

◎：最適 ○：適する 最適な後作物の無印は普通とする
 ※サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。
 ※品種名が商品名と異なる品目は、品種名を（ ）書きで記載しています。

特 性	センチュウ抑制					緑肥の効果							最適な後作				利 用					品 種			
	キタネグサレ	キタネコブ	ダイズシスト	※サツマイモネコブ	ジャガイモシスト	有機物の補給	空中チツソの固定	菌根菌の増殖	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離作物	景観美化	テンサイ	ジャガイモ	豆 類	小 麦	園芸作物	休 閑	短期休閑	後 作		間 作	越 冬	施設ハウス
初期生育旺盛、細茎・多葉で多収 キタネグサレセンチュウ対抗植物 センチュウ対策は 15kg/10a、9 月播きは 20kg/10a ジャガイモそうか病やアブラナ科野菜の根こぶ病対策に適する	◎	◎				◎		◎		○	◎			○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎			○	ハイオーツ
生育旺盛で多収 テンサイの前作に適する（収量性を改善） 鮮やかな黄色い花をつける							◎		◎		○		◎	◎			○			○	◎			○	（品種） メテックス
辛みの成分含量が高いアブラナ科緑肥 着蕾～開花始の茎葉部の多い時期にできるだけ裁断して鋤き込む ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可 景観緑肥にはキカラシの方が良い テンサイ根腐病、ホウレンソウ萎凋病、コムギ立枯病の発病軽減効果が期待できる						○			○		○		○	◎			○			○	◎			○	辛神 P P
8月上旬までにできるだけ播種を終える ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可																	○								
コムギや早出し作物後に播種できるマメ科緑肥 根粒菌も着生						○	◎	◎			◎			◎	○	○	◎			○	◎				（品種） まめ助
耐湿性と低温伸長性に優れる 根粒菌も着生 越冬する場合もあるので、しっかりと鋤き込む						○	◎	◎			◎		○	◎	○		◎			○	◎				（品種） 藤えもん
越冬性と耐湿性に優れる 長期栽培で雑草抑制が期待できる						◎	◎	◎			◎		○	◎	○		◎		◎	○	○		◎		（品種） 寒太郎
直立性エンバク「とちゆたか」とヘアリーベッチ「まめ助」との混播 根粒菌の着生と 8 月下旬播種でも可能なセット						○	◎	◎			○			◎	○					○	◎				まめゆたか
ハイオーツに準じてネグサレセンチュウを減らす 秋播きコムギの休閑に適する 栽培期間が長く、多収 ドリフト対策の障壁作物として利用	○	◎				◎		○		◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎	（品種） ねまへらそう
低温伸長性に優れ、初期生育が良好 種子が小粒でスタン্ড形成が良好 ドリフト対策の障壁作物として利用		◎				◎		○		◎	○	○				○	○	◎	◎					◎	（品種） つちたろう
サツマイモネコブセンチュウ対抗植物 クリーニングクロープは無施肥				◎													○	◎	◎						（品種） ジャンボ
ダイズシストセンチュウ対抗植物 根粒菌により空中チツソを固定し、地力を増強 深紅の花が景観美化に適する（春播きのみ開花）			◎			○	◎	◎			◎		◎		○	○	◎			◎	○				くれない
ジャガイモシストセンチュウ対抗植物 春播きの方が密度軽減効果は高い					◎														◎		○				ポテモン P P
春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる きれいな紫色の花が咲き、蜂花植物としても適する 花は 8 月まで楽しめる 前作で栽培するとネギの生育が良好（府県で実証）						◎					◎		◎					長ねぎ		◎					アンジェリア
耐病・耐倒伏性の直立性エンバク 園芸作物や早春の防風作物に適する カボチャの間作やタネバレイショの隔離作物におすすめ ドリフト対策の障壁作物として利用		◎				○		○			○	◎								◎	○				とちゆたか
タマネギの後作緑肥に適する（肥肥力の増加や土を軟らかくする）、越冬させて早春の土 壌浸食防止に適する ドリフト対策の障壁作物として利用 秋播きでキタネグサレセンチュウを抑制	○	◎				◎		○			◎	◎						タマネギ		○	◎		◎		（品種） ウィーラー
エンバク スワンよりもさらに早生タイプのエンバク ハウス栽培後や春先の有機物補給に ハウスは残肥を利用						○		○			◎									○	◎			◎	スナイパー P P
根粒菌により空中チツソを固定し、地力を増強 ダイズシストセンチュウ対抗植物 コムギ間作は適度に土壤水分があるうちに播種する 緑肥用			◎			○	◎	◎	◎		○			○	○	○	◎		◎			◎			メジウム
低価格の早生エンバク（春播きは不適）		◎				○		○			○									○	◎				スワン